

ほっと一息通信

こんにちは。遅寝早起きを繰り返している上野邦雄です。(笑)



私の愛猫のブッチ君です。生まれてもう14年になり私よりも年寄りになりました。(笑)

14年前6匹生まれましたがだんだん減り今は2匹だけです

一般に私らの歳に成ると早寝早起きだと普通思いますが、それに反して

私は夜更かしまでしています。

普通は夜 11 時になると寝るのですが、たまに 12 時まで起きていることがよくあります。

12 時まで起きている日が 3 日ほど続いたらさすがに眠たくなり 11 時で寝ます。

なぜ 11 時に寝るのかと言いますと、9 時から 2 時間サスペンスドラマを見ているからです。

私も妻もサスペンスドラマが大好きで見えています。

でも最近は妻も私も見ているようではっと気がついたらうたたねをして大事な場面を見過ごしています。(笑)

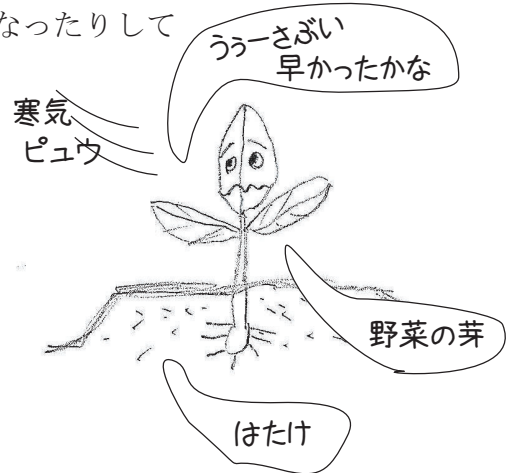
横を見たらぐっすり寝ています。(笑)

うたたねをしているからこそ寝不足を少し解消しているのかもしれませんが。

人間眠たい時眠れば一番体に良いのにわかっちゃいるけどやめられない。(どこかでよく聞く言葉です。(笑))

話は変わりますが、気候の方はなんだかすっきりしませんね。

連休後少し暖かくなってきたかと思っていたら、急に寒くなったりして体の調子をくずして風邪などを引かないように気をつけてください。



このまえ妻が夕方(6時ごろ)近所の開業医さんのところに薬をもらいに言ったら患者さんでいっぱいだったそうです。

私「何で満員なんや」妻が言うにはセキを出している人が多くいたとのこと。

菜園 4 年目

私が菜園らしきものを始めてもう 4 年経ちました。

今も 4 年前もほとんど変わりません。(笑)

進歩が無いということです。



それは当たり前で肥料はやらない。耕さない。雑草は伸び放題

題で

でしたら誰も苦勞はしません。

しかし私はそれを実践しています。(笑)

ただ単に怠けているだけです。(笑)



カスライカを植えたのです(笑)が

早くも葉が枯れかけた おいしい

でも不耕起、無農薬、無肥料栽培で野菜が育てば味もとてもよく、腐らないと言う良い事ばかりを信じてやっていますが、一向に大きく育ちません。

本には農薬や肥料の与えている野菜や果物は日が経つと腐って行き、悪臭が出ますが、自然栽培のものは腐るのではなく、枯れていくのだ



おじさんが見るに見かねてカボチャの苗を植えてくれた

そうです。

まあ理屈はどうであれ野菜が育たなければなんにも前へ進みません。

そこで仕方なく種を植えるところだけスコップで掘って油粕と木の葉の堆肥をほんの少しまいて埋めて種をまいてみました。(ほんの気休め)

どうなるかわかりませんが様子を見えます。

それと今年も、もう一回野菜との間に枝豆(土

の栄養分を補ってくれるそうで)を巻きましたが、カラスが電柱から見ていたのかまいたところを上手にほじって豆を一部食べられました。

私が種をまいているとき電線に一羽いたのです。

このカラスは「しめしめ豆をまいているなゴチになろう」と私が去るのを待っていたのかもかもしれません。

埋めた場所は適格にほじってあります。

やはりその道のプロですね。(笑)

スイカも実が付きソフトボールぐらいになるとカラスにやられ、去年は全滅です。(笑)

でもササゲとツルマメは4年間毎年種を取って植えていますが、何とか育ち収穫があります。

この2品種は私の畑の地に適してきたのかただ単に生が強い品種なのかわかりません。

でも無肥料、無農薬、不耕起で育ってくれるので喜んでいきます。

他の野菜もこのように育ってくれるのはいつのことやら。(笑)

ここで親戚の人いわく「おまはんの野菜を食べられるようになる時はおらっちゃもう死んだらわい」。(笑)

津波の次は竜巻？

津波のすごさに驚いているのもつかの間で今度は竜巻です。

ありとあらゆる自然災害が日本(なにか東北地方に偏っているみたい)に押し寄せてきます。気候が変わってしまったのか竜巻はアメリカが本場(言い方が悪いです)だと思っていました。が日本にも大きな竜巻が発生しました。

日経BP社ケンプラッツの特集を見ますと住宅がべた基礎もろとも空中に持ち上げてさかさまに落としたものがあり、とても信じられないような事です。

台風も恐ろしいのですが、竜巻は通り道はあるものの、しっかりした家でも基礎もろとも持ち上げられるような強い竜巻が来たらどうすればよいのか、どこへ避難すればよいのか逃げ場が無いように思えます。



竜巻の進路が大体はっきりすれば、進路から外れた公共の建物へ非難すればよいのかも知れませんが、台風のように家の中にじっとしているのかわかりませんが、これから検証が終わって何らかの対策などが考えられるでしょう。

台風もそうですが、竜巻も家の中に風が入らないように対策をしなければならないようです。

窓などにもものが当たって硝子が割ればそこから風が入り大きな被害になりますので、サッシなどは雨戸付やシャッター付にして防護しなければならないので雨戸付サッシも考えに入れて行きたいと思っています。

私たち建築屋も地震、地盤、火災、台風、竜巻と自然の猛威とどういう風にしてかかわって行けばいいのか、考えさせられます。

自然に逆らわないで住居を維持できれば越したことはありませんがそんなわけには行きませんが、なんか変な話の方向に行きましたが、私たちの生命はもちろん住まいも少しでも被害が小さくなるように出来るところから対策をしたいものです。

北陸電力管内も節電？

この夏、私たちのところも節電をしなければならないようです。私たちは日ごろから節電していますが、と言いたいところですが、もっと節電を考えなければならないようです。エアコンの温度設定をあげるか、扇風機や自然の風を利用するとか、南側の開口部の外にツル性の植物を張らすか、又は地面があれば広葉樹を植えるとか、又は部屋の断熱性能を高めて小さなエネルギーで部屋を冷断房するなどこれももう一度見直してみる機会にされればよいかと思えます。冷断ばかりでなく照明やその他電化製品の使う時間帯などいろんな面で考えて乗り切りましょう。

とても尊敬しています

今回ご紹介するのは氷見市地蔵町にお住まいの尾長保様です。

尾長様は日展作家で工芸美術（評議員）で活躍されています。

親しみやすく優しい方です



尾長様とは私が会社勤めの時にお住まいの新築現場を監督させていただいたご縁でメンテナンス等をさせていただきます。この前も屋

上防水改修工事をさせていただきました。ご自宅は鉄筋コンクリート造で海岸沿いにあり、窓からは富山湾を一望出来るすばらしい所に住んでおられます。

私は尾長様から新築の時に記念に作品をいただきました。

それを宝にして大事に持っております。

尾長様ありがとうございました。

これからもよろしくお願いいたします。

どうも気候が変わり、経済も変わり世界中が変わりつつあるように見えます。わたしたちももっと省エネを考え、少しずつ改善していき、あまりエネルギーのかからない生活スタイルに行きたいと思っています。